

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和8年4月7日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 1
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～第1学期始業式～

令和8年度がスタートしました。全員出席とはいきませんでした。子供たちは元気に笑顔で登校してきました。

第1学期の始業式では、新3年生と新6年生が新しいスタートについて、自身の抱負を全校の友達の前で伝えました。



新3年生は、「身の回りの整理整頓を頑張りたい」「社会科が始まるので、長崎のことについて調べたい」「音楽もリコーダーの練習をがんばりたい」「自分で考え行動し、たくさんの思い出作りをしたい」

新6年生は、「最幸の6年生となる活動を頑張りたい」「ソーラン節や挨拶などの伝統を引き継ぐとともに、新たな伝統づくりを頑張りたい」「6年生としてリードしていく立場になるので、様々な視点を持ち、考えて行動したい」「思い描いた自分になるようにみんな頑張ろう」

どちらも、堂々としたとても立派な発表でした。目標をもち、前に進もうとしている子供たちをしっかりと支えていきたいと思います。

＜生活の話＞

生活指導担当の先生が、子供たちに第 1 学期の生活についての話をしました。

「子供が主役の子供ど真ん中の学校なので、自分たちでアイデアを出しながら学校がより楽しくなるために頑張ってもらいたいです。」



「4 月は、あいさつを頑張ってください。」「取組としては『あいさつ相撲』をしていきたいと思います。『先に出した方が勝ち』というルールです。」という話でした。

「先にあいさつをした方が勝ち」という取組です。とてもいいアイデアです。始業式の帰りに、6 年生がさっそく「こんにちは～」と、先にあいさつをしていました。吸収力のある、さすが 6 年生だなと思える場面に出会いました。

「あぜかり教育」を大切にしながら、子供たちがすくすくと成長していくことができるよう、今年度もしっかりと子供たちを支えてまいります。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

畝刈小学校は

「子供ど真ん中」の学校

「自ら考え行動し、あいさつ・返事日本一を目指す子供たち」を支えています。